



大学近隣の風景写真(奈良女子大学メールマガジンより抜粋)

学外の方とのつながりが広がってきました。そうすると「産学官連携推進レター」の作成が遅延気味になってきています。失礼しました。ちょっと挽回しようと思っています。(コ)

1. 第6回産学官連携推進会議終了

6月16日、17日の両日、京都宝ヶ池国際会議場で開催されました第6回産学官連携推進会議にブース出展参加いたしました。内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、日本経済団体連合会、日本学術会議が主催するこの会議は約4000人強の関係者を集め、例年この時期に開催されます。今回の参加大学は、約85大学でした。国立大学法人での参加率が高く、この宝ヶ池での推進会議から各大学の本年度の産学官連携行事が気持ち的にスタートするといった感じです。

高市早苗 内閣府特命担当大臣(科学技術政策・イノベーション)の基調講演や岡村正(株)東芝取締役会長の特別講演などをオープニングとし、各展示コーナーではそれぞれの大学や高専、自治体などが産学シーズ紹介や産学官連携の成果紹介が熱く行われていました。

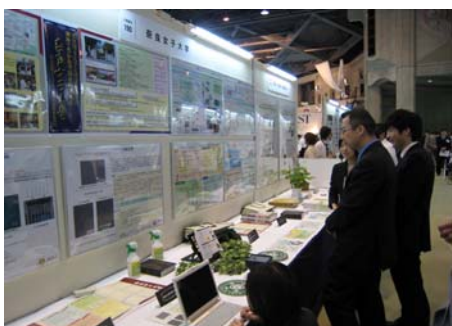
本学は今年初めて2コーナー分の展示スペースを確保しました。情報系のパネル4枚に地域資源を使った研究パネル2枚を主に、社会連携センターの説明を加えた構成です。時間交替制にて6名の学生スタッフも参加し、学生にとっても良い経験の場となったようです。



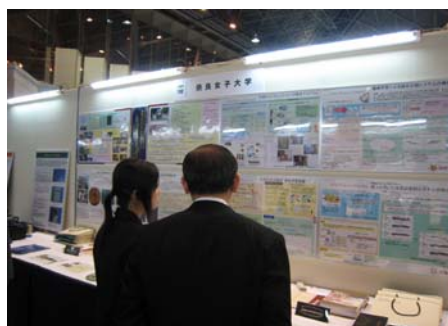
会議場メインホール I



会議場メインホール II



本学展示ブース I



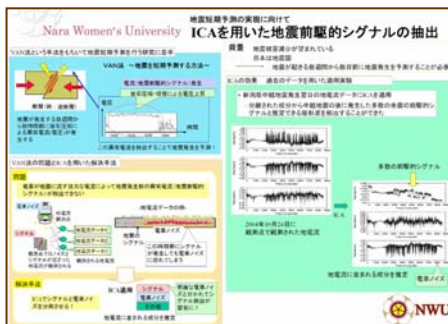
本学展示ブース II



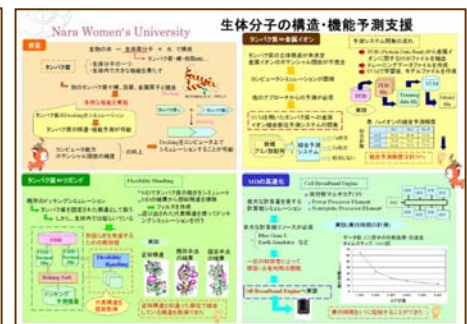
本学展示ブース III



展示パネル I



展示パネル II



展示パネル III

(財)加藤記念バイオサイエンス研究振興財団 2007年度研究助成

【学内締め切り】平成19年8月17日

【問い合わせ】<http://www.katokinen.or.jp/>

【助成対象】A:研究助成 バイオサイエンス分野の基礎研究における独創的かつ先駆的研究

a.メディカルサイエンス分野 b.バイオテクノロジー分野

B:奨励研究助成 バイオテクノロジー分野

生物機能を利用した物質生産技術に関わる研究、機能性食品及びその素材に関わる研究、
環境・エネルギーに関わる研究

【助成金額】A:200万円/件 B:100万円/件

【助成対象】 A:男性40歳以下、女性45歳以下(H19.8.31現在)

B:男性35歳以下、女性40歳以下(H19.8.31現在)

(財)大和証券ヘルス財団 H19年度調査研究助成

【公募時期】～平成19年7月31日(消印有効)

【問い合わせ】<http://www.daiwa-grp.jp/branding/kouken/dsh.html>

【助成対象】中・高年者の保健・医療及び福祉等に関する調査研究

【助成金額】100万円/1年

(財)人工知能研究振興財団 H19年度人工知能に関する研究助成

【公募時期】平成19年7月1日～平成19年9月30日(必着)

【問い合わせ】<http://www.airpf.or.jp/>

【助成対象】人工知能及びその関連技術分野の高度化に関する研究

【助成金額】上限100万円/件 2年以内

(独)科学技術振興機構 H19年度バイオインフォマティクス推進事業

【公募時期】～平成19年7月31日 12:00(必着)

【問い合わせ】<http://www.jst.go.jp/>

【助成対象】生物情報科学に関する創造的な研究開発

【学内連絡】申請は電子申請のみ 応募される方は申請書の写しを研究協力課まで提出願います。

【助成金額】2～3千万円/年 原則3年間

(財)上原記念生命科学財団 H19年度研究助成

【学内締め切り】平成19年8月20日(各部局1件)

【助成対象】生命科学、特に健康の増進、疾病の予防および治療に関する研究 A:研究助成金 B:研究奨励金

【問い合わせ】<http://www.ueharazaidan.com/>

【助成金額】A:500万円 B:200万円

【応募要件】B:若手研究者(S45.4.1以降出生の研究者)

(独)日本学術振興会 H20年度熱帯生物資源研究助成事業

【学内締め切り】平成19年8月31日

【応募要件】食糧資源であるとともに環境資源ともなる熱帯有用植物資源に関する基礎的 応用的研究

【問い合わせ】<http://www.refost-hq.jp>

【助成金額】100万円/件(平成20年度)

【応募要件】満35歳(H20.4.1現在)以下の研究者

(財)光科学技術研究振興財団 H19年度研究助成(A)・研究表彰(B)

【公募時期】～平成19年8月31日

【助成対象】光科学技術に関する研究

H19年度課題 1:光科学の未知領域の研究-とくに光の本質について

2:細胞間あるいは分子間の情報伝達についての研究

【問い合わせ】<http://www.refost-hq.jp>

【助成金額】(A)総額約5千万円(原則2年以内) (B)総額100万円

【応募要件】(B)35歳以下の研究者

(財)ノバルティス科学振興財団 H19年度研究奨励金

【学内締め切り】平成19年8月31日

【問い合わせ】<http://www.novartisfoundation.jp/>

【助成対象】生物・生命科学およびそれに関連する化学の領域における創造的な研究

【助成金額】100万円/件 (平成20年度)

【助成対象】原則として博士号を有する研究者(またはH20.3末までに学位取得が予定されている研究者)

(財)発酵研究所 H20年度研究助成

【公募時期】～平成19年9月28日(必着)

【問い合わせ】<http://www.ifo.or.jp/>

【助成対象】A:微生物の分類学的研究および培養株の保存に関する研究

B:健康や環境に關与する微生物の研究

【助成金額】A:上限300万円/年 B:上限500万円/年 H20年度～3年まで継続可

住友生命「未来を築く子育てプロジェクト」実行委員会 女性研究者への支援

【公募時期】～平成19年9月30日(必着)

【問い合わせ】<http://www.sumitomolife.co.jp/child>

【助成対象】人文・社会科学分野

【助成金額】上限100万円/2年

【応募要件】大学院博士後期課程在籍者を含む所属長の推薦が必要な場合は9/18までに研究協力係まで申請書を提出願います

(財)農政調査委員会 H19年度東畑四郎記念研究奨励事業

【公募時期】～平成19年7月31日

【問い合わせ】<http://homepage2.nifty.com/apc/>

【助成対象】社会科学の分野 食料・農業・農村問題の実証的調査研究

【応募要件】学生、大学院生も応募可 原則40歳未満

【助成金額】上限50万円/件

旭硝子(株) 2007年度旭硝子リサーチコラボレーション制度(公募型産学共同研究)

【公募時期】～平成19年8月10日

【助成対象】ガラスやポリマー基板上でのドライコーティング手法による無機薄膜の構造制御技術など

【問い合わせ】<http://www.agc.co.jp>

【助成金額】上限2千万円/年 2～3年の研究期間

【学内連絡】産学官連携コーディネータ 藤野(内線3734)にご連絡ください。

(財)旭硝子財団 H20年度「課題研究助成」

【学内締め切り】平成19年8月31日

【応募要件】公益性の高い成果を目指した領域連携型の新技術開発 都市環境の向上、都市環境問題の解決に資する研究

【問い合わせ】<http://www.af-info.or.jp/>

【助成金額】1000万円/件 (2～3年)

【応募要件】連携チームによる研究(原則3名)

(財)旭硝子財団 H20年度人文・社会科学系「研究奨励」

【学内締め切り】平成19年9月14日

【応募要件】持続可能性を保障する社会システムの人文・社会科学的な研究

【問い合わせ】<http://www.af-info.or.jp/>

【助成金額】100万円/件 (1～2年)

【応募要件】S33.1.1以降生まれ

(財)旭硝子財団 H20年度自然科学系「研究奨励」

【学内締め切り】平成19年8月13日

【応募要件】物質・材料、生命・生物、材料・デバイス、情報・制御、設計・生産、建築・都市空間

【問い合わせ】<http://www.af-info.or.jp/>

【助成金額】200万円/件 (1～2年)

【応募要件】S33.1.1以降生まれ

3. 奈良女子大学メールマガジン

現在、社会連携センターで出しております「奈良女子大学メールマガジン」は、この7月20日（金）配信で112号を迎えます。人気の「季節の写真便りコーナー」で紹介した写真は1300枚を超えました。現在の読者数は約530名です。

広報的な記事がございましたら、e-magazine@cc.nara-wu.ac.jp 宛てにお知らせください。

また、e-magazine@cc.nara-wu.ac.jp 宛てにメールタイトルを「登録」として空メールを送信していただくと、登録させていただきます。研究室の学生さんなどにもご紹介してください。下の写真はメルマガで紹介しました最近の写真の抜粋です。



ランチタイムコンサート



生活環境学部専門科目「世界遺産と地域計画」



文部科学省 結城事務次官が来学

4. 今後の予定

■イノベーションJAPAN2007ー大学見本市に出展します。

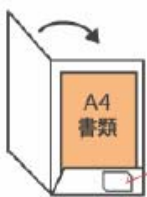
- 出展ゾーン：大学ゾーン(研究成果)
- 色素を連結した感圧・感温塗料用ポリマーの開発
- 申込分野：ナノテク・材料
- 申込代表者名：矢野重信（大学院人間文化研究科教授）



■第5回全国高専テクノフォーラムの会場校となります。

- 日時 平成19年8月9日（木）～10日（金）
- 主催 独立行政法人国立高等専門学校機構
世話校 奈良工業高等専門学校
- 内閣府特命担当大臣、経済産業省近畿経済産業局長、文部科学省研究振興局から講演予定
- 本学からはパネル討論「地域における産学官連携の在り方とヒューマンネットワーク」に社会連携センター特任准教授藤野千代、およびパネル展示に参加予定。

5. コーディネーターお勧めグッズいろいろ



↑全学仕様の紙ファイル。



名刺



↑研究紹介集
2006-2007



↑大学メールマガジンで紹介した写真が満載の
PHOTO MESSAGE



↑今年度の「うちわ」仕様です。
裏には地図が入っています。